

目標達成計画

作成日: 平成24年8月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者の重度化や終末期の方針が明確化されていない為、本人・御家族への説明が十分にできていない状況。	重度化や終末期の対応についての方針を明確化する。 方針を共有化することで、本人・御家族への説明が十分に行えるようにする。	事業所職員や関連部署との情報交換を行い、重度化や終末期の対応について、法人とも確認を取りながら方針を明文化する。	12ヶ月
2	43	排泄支援は実施しているが、個々の排泄チェック表が無く、排泄パターンの把握が出来ていない。	個々の排泄パターンを把握したトイレ誘導を実施し、排泄の自立、オムツはずしが計画できる。	排泄チェック表の作成、排泄パターンの把握及び、排泄アセスメントができ、ケアプランへ反映する。	12ヶ月
3	35	非常口にソファが置いている事で、避難時に障害となる可能性がある。	非常口に障害物が無く、スムーズな避難経路が確保される。	ソファを置く事で休憩する空間にもなっているため、ソファを向きや位置を考慮して、非難時に障害にならないよう配置する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。